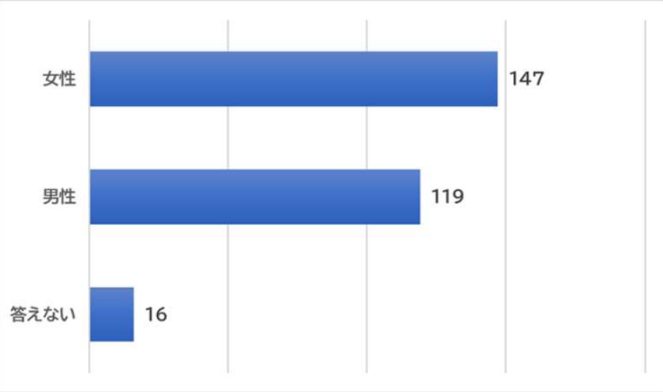
七尾市役所 ハラスメント実態調査調査概要、基本情報

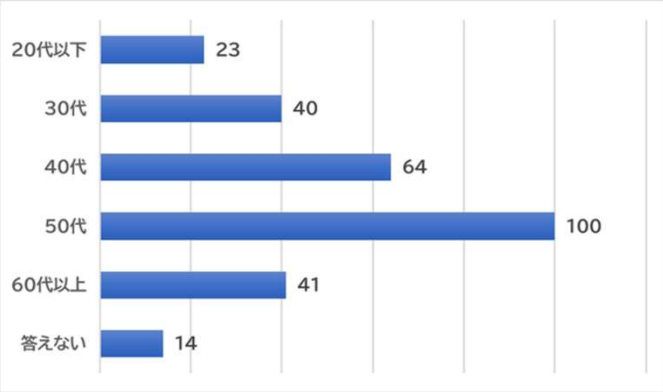
調査概要

調査対象	七尾市職員 約580名
調査期間	令和8年7月27日～8月7日
調査方法	Microsoft Forms及び紙面調査票によるアンケート
匿名性	原則無記名。ただし、個別対応等を希望する場合は質問33で任意に氏名を記入
調査項目数	34問
回答数	282件
回答率	約48.6%

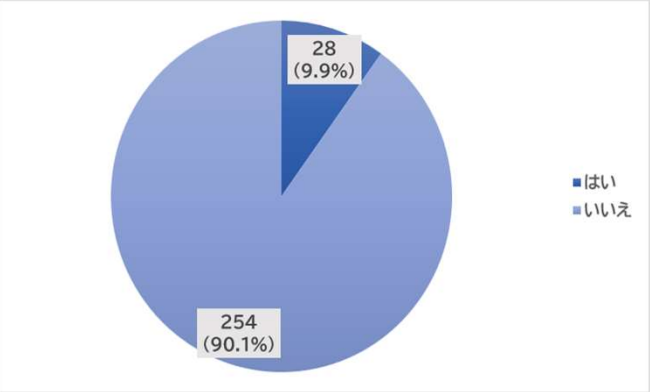
基本情報：性別



基本情報：年齢



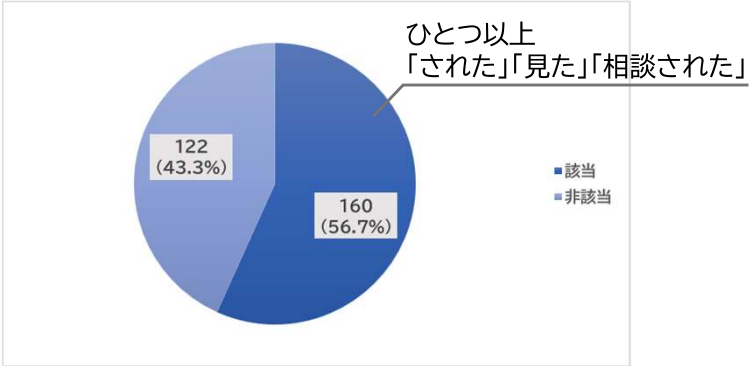
基本情報：現在ハラスメントで困っている



調査に回答した職員のうち、約1割が現在進行形で職場のハラスメントに悩んだり困ったりしている

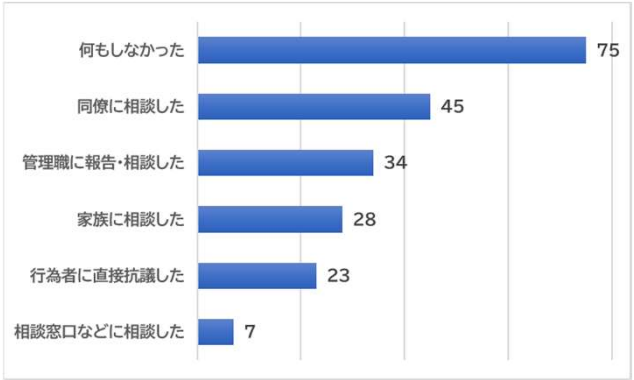
七尾市役所 ハラスメント実態調査　　調査結果概要

職員の約6割が職場での不適切な言動を認知



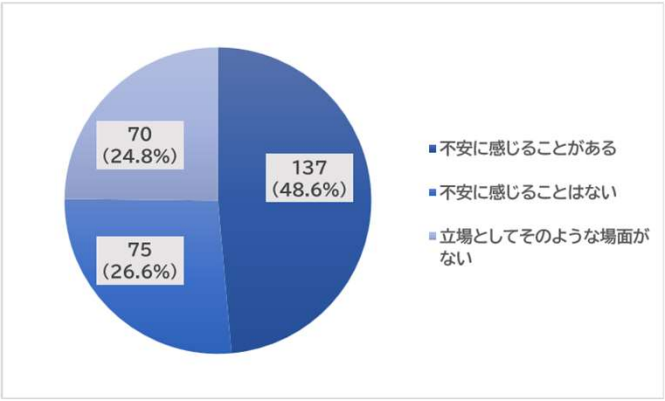
具体的な言動としては「悪口や陰口」「無視」「感情的な叱責・威嚇」「人格否定・差別的発言」の認知度が高かった。
行為者は「上司」が最も多く、次いで「同僚」が多かった。

不適切な言動を認識した職員のうち約半数が「何もしなかった」



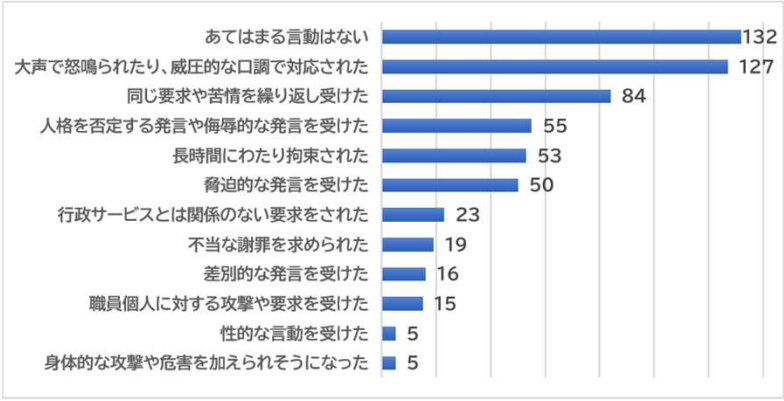
何もしなかった理由としては「何も解決しないと思った」が最も多かった。その他「行為者による報復を恐れた」「何らかの不利益を被るかもしれないと思った」等の回答も多くあがっていた。

約半数がコミュニケーションに不安



職員の約半数が業務上の指示・助言・注意をハラスメントと受け取られないか不安に感じることがあると回答した。

過半数がカスタマーハラスメントを経験



過半数の職員がカスタマーハラスメントを経験したことがあると回答。「大声・威圧的な口調」「同じ要求や苦情の繰り返し」が多かった。

組織に求めるハラスメント対策

組織的対応の実効性向上
・・・37件
相談・通報・被害者支援体制整備
・・・24件
研修・啓発・職場風土の改善
・・・20件
人員配置・人事管理の見直し
・・・20件
その他・・・14件